

# 鹿児島駅周辺土地利用基本計画(案)

※修正箇所を黄色塗の赤文字で表記

目次	頁
1. はじめに	1
2. 上位計画・関連計画	2
3. 計画地の現況等	3
4. 問題点等・今後の課題等	7
5. 土地利用計画	8
5-1 ポテンシャル及び対応方針	8
5-2 基本コンセプト・基本方針	9
5-3 ゾーニング	10
5-4 整備計画	11
(1)整備の基本的方向	11
(2)全体計画	12
(3)各ゾーンの個別計画	13
(4)動線計画	15
(5)事業スケジュール	15
5-5 管理運営計画	15

平成25年2月21日

# 1. はじめに

## 〈策定の目的〉

鹿児島駅周辺は、明治34年（1901年）、鹿児島一単人間に鉄道が開業したことで鹿児島駅が交通の要衝となり、官公庁など多くの都市機能が集積するなど、かつては人の往来が多く活気に満ちた地域であった。しかしながら、西鹿児島駅（現在の鹿児島中央駅）の中央駅化するに伴い、官公庁の移転、市街化の南進など、周辺の環境が大きく変化し、現在では地域の活力が低下してきている。

一方、現在でもJR、市電、バス、フェリーなどが近接する公共交通機能の集積地であり、本市の北の玄関口として位置付けられている。また、桜島や錦江湾への眺望に恵まれたウォーターフロントを擁し、鹿児島の歴史や文化等の風土が育まれた鹿児島発祥の地であるなど、他地域にはない固有の地域資源を数多く有し、高いポテンシャルをもつ地域である。

平成23年3月の九州新幹線全線開業等により、県内外からの本市の交流人口が拡大する中で、地域の活性化や駅周辺の整備に対する地域住民の期待はますます高まりをみせており、鹿児島駅周辺においては、地域がもつ高いポテンシャルを最大限に生かしながら、新たな拠点性を創出することが大切である。

平成23年度には、鹿児島駅周辺の旧国鉄用地の土地利用について、これらの状況や第五次鹿児島市総合計画などの本市の上位計画、地域住民から頂いた意見、鹿児島駅周辺土地利用検討委員会（以下、「土地利用検討委員会」という。）での協議、検討を踏まえ、「鹿児島駅周辺土地利用の基本的な考え方」をとりまとめたところである。

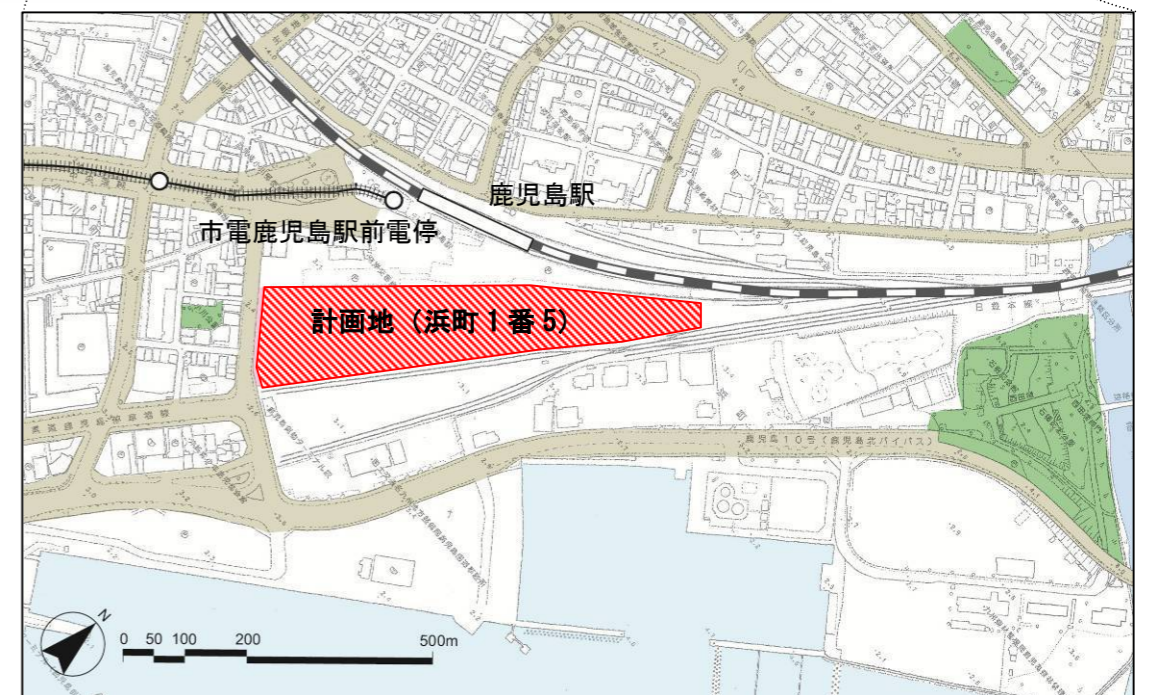
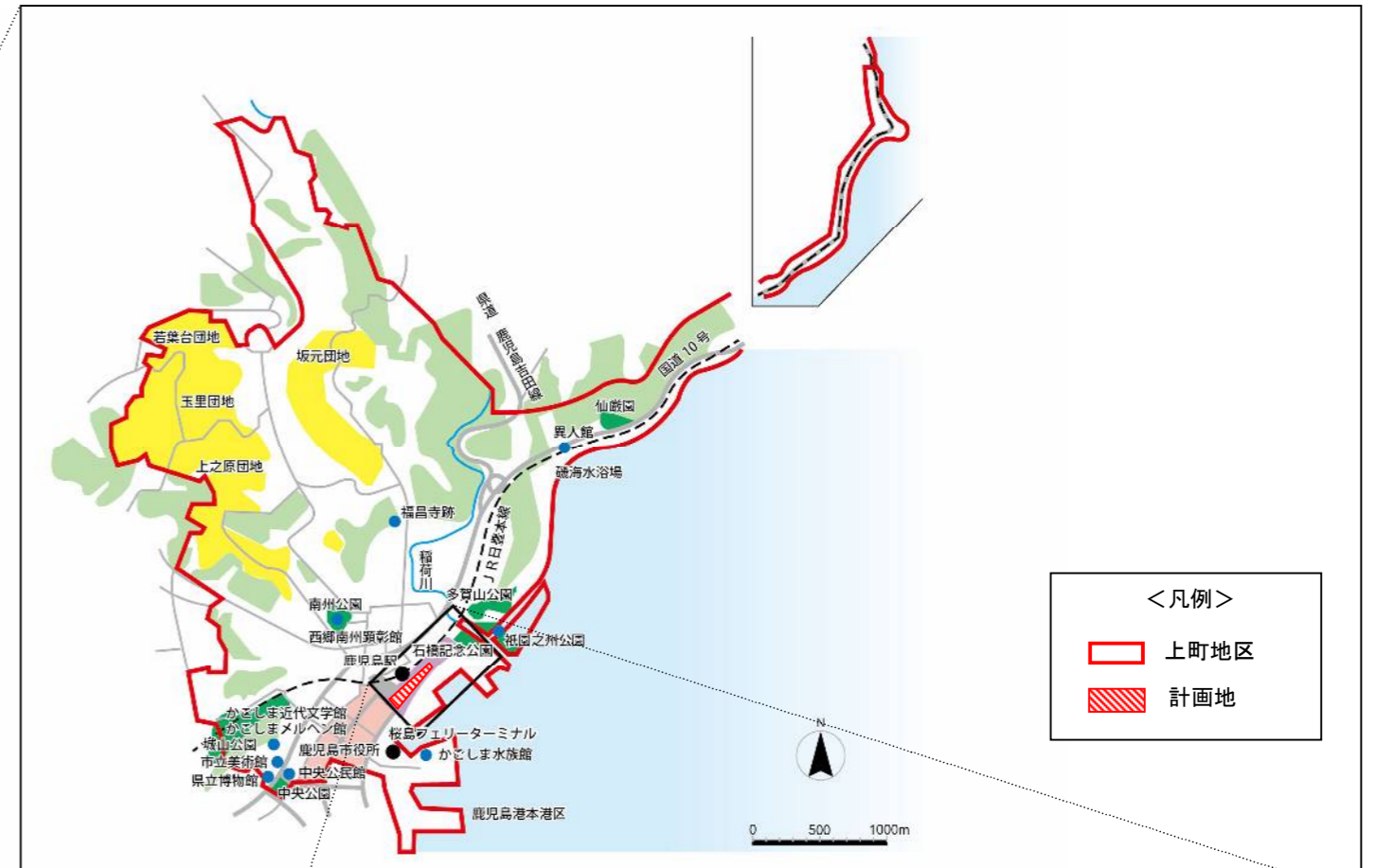
平成24年度においては、「鹿児島駅周辺土地利用の基本的な考え方」を基に、計画地（浜町1番5）の土地利用のあり方や方向性について更に具体化させるため、「鹿児島駅周辺土地利用基本計画」（以下、「土地利用基本計画」という。）を策定するものである。



鹿児島市域図

## 〈計画地の位置〉

上町地区は、本市の中央部北側にあり、計画地（浜町1番5）の位置は、下図のとおりである。



## 2. 上位計画・関連計画

### ①第五次鹿児島市総合計画（平成23年度策定）

#### 基本計画

##### □豊かさ実感リーディングプロジェクト

##### “花と緑の回廊”環境創出プロジェクト

～環境を保全し、花と緑が彩るまちを創ります！～

##### 実施する主な取組

##### ①都市の杜づくり

□J T跡地、市役所周辺、鹿児島駅などを市民が憩える都市の杜（花緑拠点）として、市民等が参画する中で、整備していきます。

##### “ディスカバーかごしま”文化創造プロジェクト

～みんなで地域文化を育み、地域の活性化につなげます！～

##### 実施する主な取組

##### ④地域の伝統芸能やイベントなどの魅力アップや新たな取組の推進

□地域の伝統芸能やイベントなどの魅力アップや地域ぐるみの参加の促進、地域の文化の掘り起こしを行うとともに、新たな取組を推進し、それぞれの地域資源を守り育てます。

##### “食の都かごしま”チャレンジプロジェクト

～みんなで「食」を通じた国内外との活発な交流を目指します！～

##### 実施する主な取組

##### ③交流・にぎわいの場づくりの推進

□（省略）「食」を生かした市民・観光客等の交流やにぎわいの場づくりを推進します。

#### □地域別計画

##### 2 地域の現況

##### I 中央地域 (II) 上町地区

##### 基本的方向

- ・鹿児島駅周辺地区においては、低未利用地となっている旧国鉄用地等を活用するとともに、交通結節機能の強化や魅力ある新たな都市拠点を形成します。
- ・都市景観や観光資源の面から、路面電車や桜島フェリーのさらなる活用策や磯地区の近代化産業遺産と連動した交通体系について検討を行います。
- ・公共施設の機能向上を図るとともに、歴史、文化と自然に恵まれた風土などの地域資源を生かした、個性あふれる地域づくりを地域住民の多様な地域活動と連携しながら進めます。

### ②かごしま都市マスタープラン（平成19年3月改訂）

#### 3章 地域別構想

##### 2. 上町地区のまちづくり構想

##### (3) 地区のまちづくり構想

##### [地区のまちづくりの目標]

鹿児島本港、城山、磯・多賀山を活かす 海に開かれ歴史にふれあうまちづくり

##### [地区整備の基本方針]

◇鹿児島駅周辺、市役所周辺の商業業務地におけるウォーターフロントとの接点を活かした再整備と活性化

◇城山、磯・多賀山の自然環境・景観、南洲門前通りの歴史的街並み、本港区のウォーターフロントなど地区資源の一体的活用による地区の活性化

### ③まちと緑のハーモニープラン（緑の基本計画）（平成23年3月策定）

#### 第6章 地域別の緑のまちづくり

##### 6-2 上町地区

##### (3) 上町地区の緑に関する方針

- ◇目標 鹿児島本港、城山、磯・多賀山を活かす「海に開かれ歴史にふれあう緑のまちづくり」
- ◇施策・事業 ④「身近な緑の育成・創出」に関する施策 施策12 身近な公園・広場の創出
- JR鹿児島駅周辺再整備に伴って、緑豊かなにぎわいのある拠点機能再生を促進します。

### ④文化薫る地域の魅力づくりプラン（平成24年3月策定）

#### 6. 基本方針

基本方針① 市民みんなで文化を盛り上げる～人づくり・体制づくり～

○文化の本質を市民全体で共有する

○文化を支える取組を連携させる

基本方針② 文化資源を磨き、「ここにしかないもの」を築く～継承・発展～

○文化を守り、磨き上げる

○文化を発展させ、新たな魅力を生み出す

基本方針③ 地域に根ざした多彩な文化資源を活用し、まちの価値・魅力を高める～活用・交流～

○身近な所に活動の場を提供する

### ⑤第2期鹿児島市観光未来戦略（平成24年3月策定）

#### 第4章 戦略の推進施策

##### 2. 重点施策

基本戦略1 「鹿児島」オリジナルの魅力の向上～感動・体験・回遊できるまちづくり～

視点① 「観光資源・イベントの磨き上げと充実」にかかる重点施策

3) 歴史・文化遺産の活用

4) 「食」を活かした“美味のまち鹿児島”づくり

基本戦略3 おもてなし先進都市「鹿児島」づくり～観光客に優しい受入体制づくり～

視点① 「市民が誇れるまちづくり」にかかる重点施策

1) 市民がふるさとの良さ・資源を再認識する機会づくり

2) 美しく潤いのある都市空間・魅力的な景観づくり

視点③ 「安心・快適に観光できる体制づくり」にかかる重点施策

5) わかりやすい観光案内機能の充実

6) 利便性の高い交通環境の充実

### ⑥鹿児島市景観計画（平成20年6月施行）

#### 第2章 良好な景観の形成に関する方針

##### 第3節 ゾーンごとの景観形成方針

##### 2. 市街地ゾーン

##### ○景観形成方針

桜島・錦江湾と台地・山並みの連続性や周囲からの眺望に配慮した景観形成を図ります。

・多様な都市機能の集積に対応した秩序ある景観の形成

・海との近接性や台地からの眺望景観等に配慮した景観の形成

#### 第3章 良好な景観形成のための行為の制限

##### 第1節 建築物の建築等、工作物の建設等

##### □眺望確保範囲における景観形成基準など

##### ①桜島への眺望確保

◇景観形成の基本方針「鹿児島のシンボル錦江湾に浮かぶ桜島への眺望に配慮した景観づくり」

○城山の豊かな自然の保全、市街地内の緑の創出

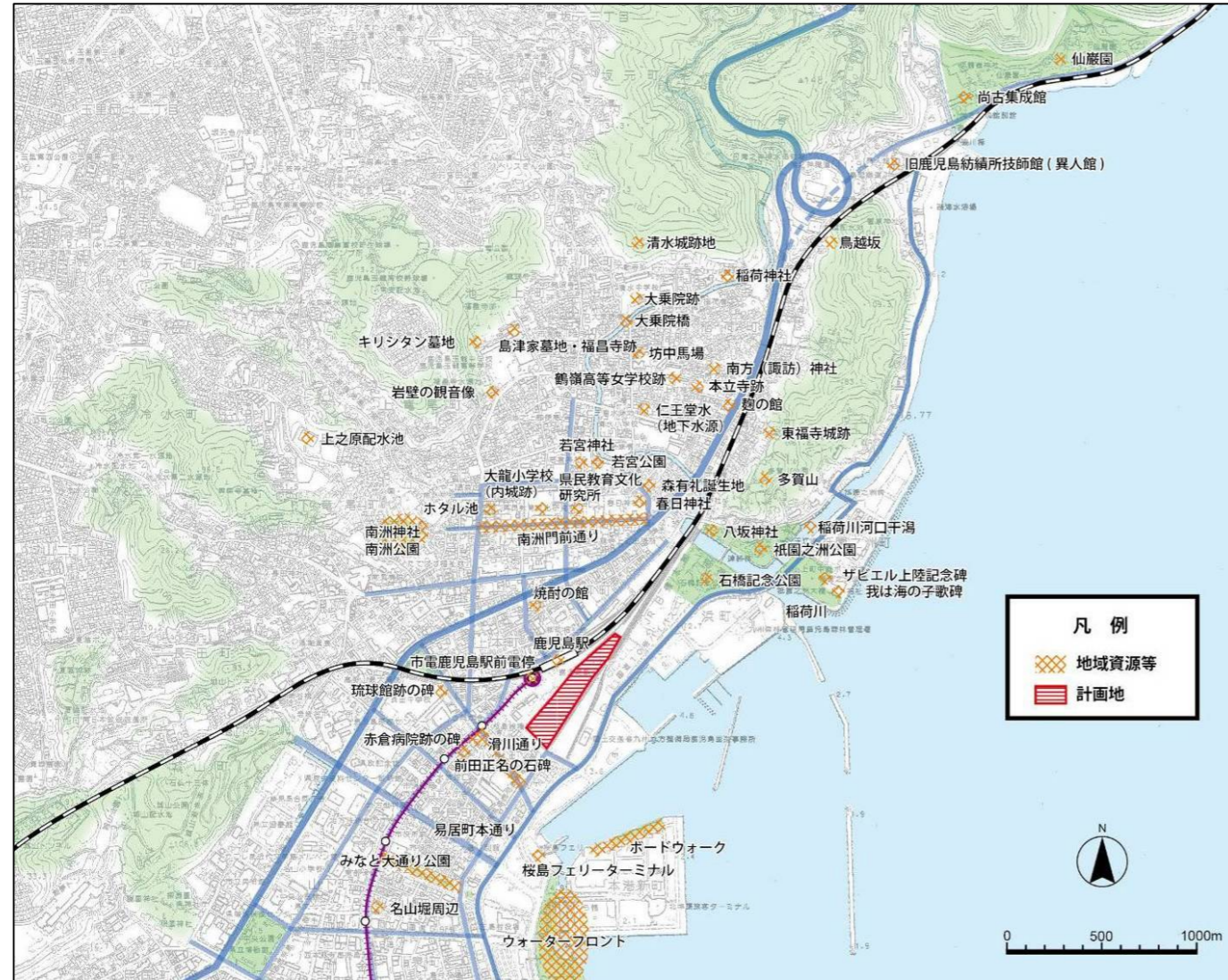
○建築物の高さ規制による錦江湾に浮かぶ桜島への眺望の保全



### ⑤ 地域固有の資源

- 南北朝時代に島津家が居城を構えてから長らく鹿児島を中心として栄えてきた証として、上町地区内に一連の史跡等が残っている。
- 薩摩藩主自らが参拝した上町五社（南方（諏訪）神社、八坂神社、稲荷神社、春日神社、若宮神社）や、西郷隆盛をはじめとした西南戦争の戦没者が祀られている南洲神社など、多くの神社仏閣が存在する。
- ザビエル上陸記念碑や鹿児島初の西洋医学が取り入れられた赤倉病院の跡、日本初の文部大臣となり日本の教育の基礎を築いた森有礼の誕生地など、歴史的な事象や人物を身近に感じることのできる多くの史跡が残っている。
- 福昌寺跡の周辺は散歩等により静かな環境が整っている。
- 昔から続く市場（滑川市場など）が残っている。
- 地域固有の資源が豊富に備わるが、観光資源として生かしきれていない。

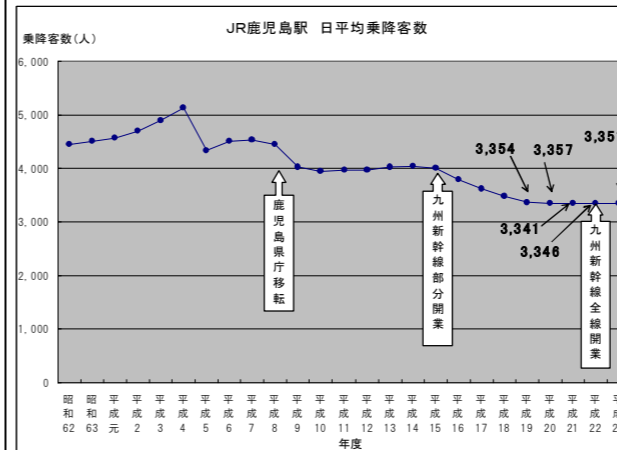
#### ■計画地周辺の地域固有の資源



出典：「鹿児島駅周辺まちづくりガイドライン」（平成 21 年度策定）をもとに作成

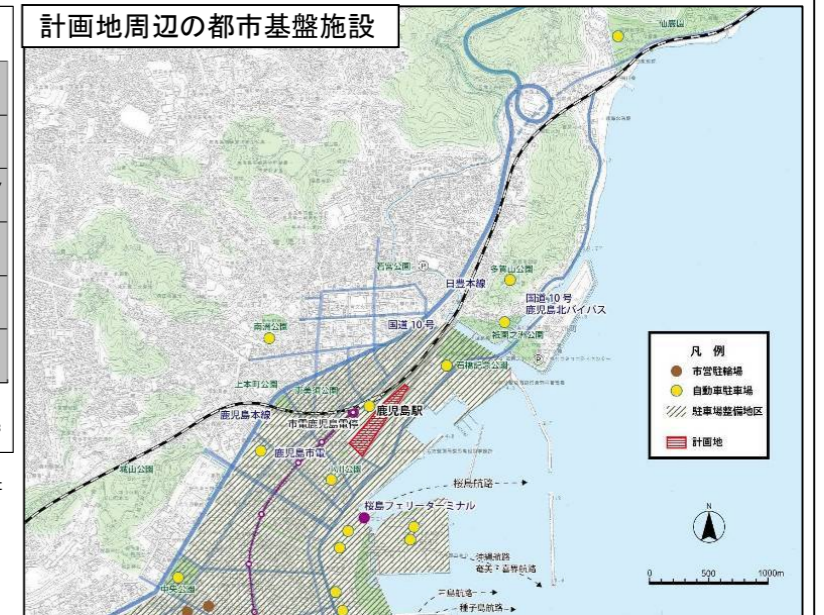
### ⑥ 都市基盤施設

- JR鹿児島駅、市電鹿児島駅前電停、桜島フェリーターミナルなど陸と海の交通拠点が近接している。
- 鹿児島駅の乗降客数は、平成 4 年をピークに減少を続け、平成 8 年の県庁移転等でさらに減少（平成 23 年時点で 3,351 人/日）し、現在では鹿児島中央駅利用者（平成 23 年時点で 39,740 人/日）の 1/10 に満たない。
- 市電鹿児島駅前電停では、約 1,500 人/日の乗降がある。
- 桜島フェリーターミナルの乗降客数は、約 10,000 人/日である。
- 上町地区の南側は駐車場整備地区に指定されている（図中斜線部。地区内の一定規模以上の建築物には駐車施設の附置義務が生じる）。
- 国道 10 号、国道 10 号鹿児島北バイパスが、計画地の西側、東側に縦断している。



※平成 23 年のデータについては速報値

出典：鹿児島市統計書



出典：駐車場整備計画等をもとに作成

### ⑦ 都市計画等

#### ○土地・都市計画の状況

土地の所在	鹿児島市浜町1番5
地目	雑種地
地積(面積)	25,087㎡
用途地域等	準工業地域(建ぺい率60%、容積率200%)

#### ○中心市街地活性化基本計画等の状況

- ・計画地は「鹿児島市中心市街地活性化基本計画区域」及び「都市再生整備計画区域（鹿児島市都心部地区）」に含まれている。
- ・計画地間口の一部は「鹿児島市景観計画」の「城山展望台から桜島への眺望確保範囲」に含まれている。

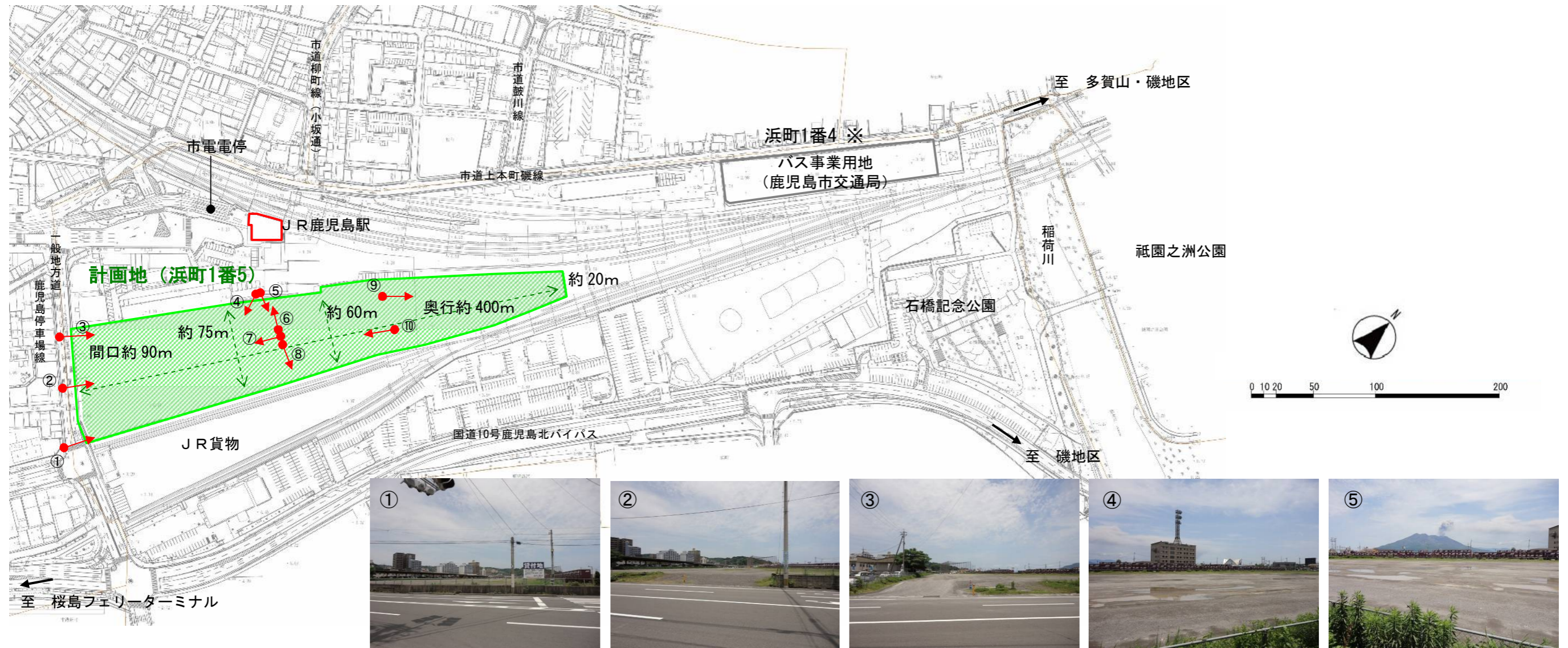
〈計画地における現況〉

① 計画地の概要

- 浜町1番5は一般地方道鹿児島停車場線に面し、JR九州軌道敷やJR貨物ヤードに挟まれた位置にある、間口約90m（奥の方は約20m）、奥行約400mの敷地である。
- 浜町1番5はJR鹿児島駅から約50m、桜島フェリーターミナルからは約300mの位置にある（最短直線距離）。

② 計画地の利用状況

- 一部をバスの待機場として利用されているほか、イベント会場、臨時駐車場等として利用されている。
- ※浜町1番5で開催された主なイベント等（平成21年度～23年度）  
〔フリーマーケット、土木フェスタ、自動車展示会、臨時駐車場、防災訓練、各種研修会 等〕

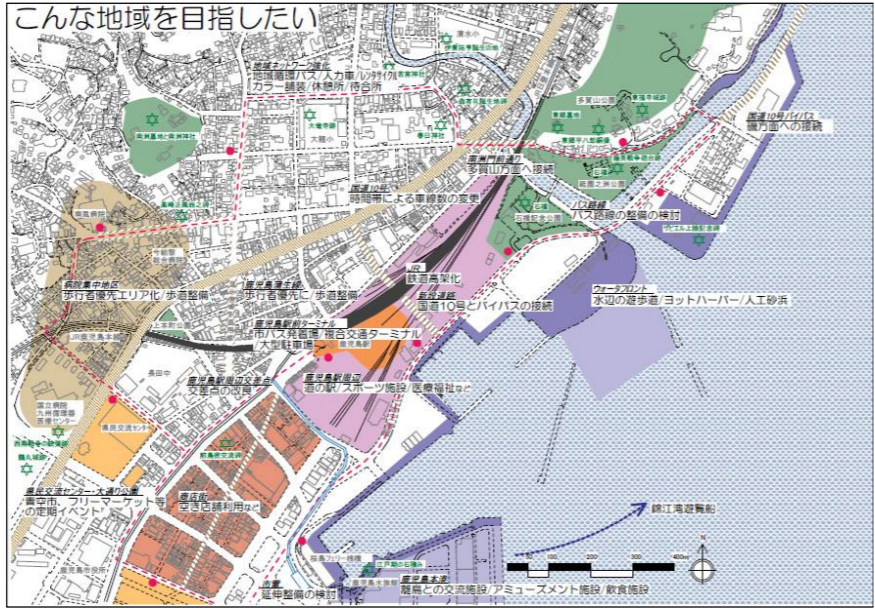


※浜町1番4については、鹿児島市交通局により、交通局施設リニューアル事業（バス施設）の移転予定地として決定（平成24年度）



〈土地利用検討の経過と地域住民等からの提言・意見等〉

① 鹿児島駅周辺整備計画と土地利用検討の経過	
○平成16年2月	浜町1番4及び1番5の土地を取得
○平成16年2月～平成20年度	連続立体交差事業（事業主体：県）及び土地区画整理事業（事業主体：市）において、拠点整備用地として活用することを検討
○平成21年2月	鹿児島県より「厳しい財政状況やJR貨物の移転、交差道路の付替などの大きな課題があり、連続立体交差事業と土地区画整理事業の実現は、現状では困難である」との見解が示される。
○平成21年度	連続立体交差事業を前提としない基盤整備の方策について多面的に調査し、その効果等の総合的な検証により「鹿児島駅周辺整備の方針」を作成
○平成22年度	平成21年度作成の「鹿児島駅周辺整備の方針」を基に基盤整備の基本設計などを実施するとともに、浜町1番4及び1番5の土地について、先行して活用することを具体的に検討することとした。
○平成23年度	鹿児島駅周辺土地利用検討委員会を設置、開催し、「鹿児島駅周辺土地利用の基本的な考え方」をとりまとめた。

② 鹿児島駅周辺地区地域住民のまちづくりの基本的な考え方 提言書(平成17年1月)	③ 地元説明会や意見交換会などにおける土地利用に関する意見等【平成21年度～平成23年度】																				
<p>(駅周辺の土地の有効活用)</p> <p>○新たな機能の誘致 道の駅、スポーツ施設、福祉施設、救急救命センター、コミュニティホール、観光情報センター、コンベンションセンター、ミュージアム、宇宙関連施設など</p> <p>○地域の人口増 高齢社会に対応した住宅整備、二世帯型の高層住宅整備など、地域の環境への配慮も行う。</p> <p>○本格的な開発までの暫定活用 離島フェスタや上町夏祭等のイベントの実施、芝生の広場など</p> 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主な意見</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光</td> <td>離島物産などを販売する施設（道の駅など）、観光情報センター、魚類・野菜類など地場食材を販売する市場風施設（フィッシャーマンズワーフなど）、土産センター</td> </tr> <tr> <td>医療</td> <td>高度医療施設等（救急救命センターなど）</td> </tr> <tr> <td>福祉</td> <td>医療施設を核とした福祉施設、住宅と一体となった福祉施設</td> </tr> <tr> <td>運動・スポーツ</td> <td>体育館、屋外型スポーツ施設、高齢者向け健康増進施設</td> </tr> <tr> <td>公園・緑地</td> <td>多目的広場・緑地、高齢者が憩える公園・緑地、子供向け遊び場スペース、芝生広場、屋外ステージ</td> </tr> <tr> <td>居住・暮らし支援</td> <td>子育て支援施設（保育園など）、塾のまち、高齢者対応住宅、二世帯型住宅、市営住宅（子育て世帯向けなど）</td> </tr> <tr> <td>地域コミュニティ</td> <td>総合コミュニティセンター、市民利用のイベントスペース</td> </tr> <tr> <td>交通</td> <td>パークアンドライド用の駐車場（中心市街地の外周駐車場、磯方面への観光駐車場など）、交通アクセス拠点（フェリーへのアクセス拠点、市営バスの終点など）、電気自動車の充電スタンド</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>宿泊施設（離島から病院へ来院する方のための宿泊など）、起業家を受け入れる施設（起業家支援施設など）、小さなショップが安い賃料で集まる施設（チャレンジショップなど）、天文館、鹿児島中央駅とは差別化が必要</td> </tr> </tbody> </table>	分類	主な意見	観光	離島物産などを販売する施設（道の駅など）、観光情報センター、魚類・野菜類など地場食材を販売する市場風施設（フィッシャーマンズワーフなど）、土産センター	医療	高度医療施設等（救急救命センターなど）	福祉	医療施設を核とした福祉施設、住宅と一体となった福祉施設	運動・スポーツ	体育館、屋外型スポーツ施設、高齢者向け健康増進施設	公園・緑地	多目的広場・緑地、高齢者が憩える公園・緑地、子供向け遊び場スペース、芝生広場、屋外ステージ	居住・暮らし支援	子育て支援施設（保育園など）、塾のまち、高齢者対応住宅、二世帯型住宅、市営住宅（子育て世帯向けなど）	地域コミュニティ	総合コミュニティセンター、市民利用のイベントスペース	交通	パークアンドライド用の駐車場（中心市街地の外周駐車場、磯方面への観光駐車場など）、交通アクセス拠点（フェリーへのアクセス拠点、市営バスの終点など）、電気自動車の充電スタンド	その他	宿泊施設（離島から病院へ来院する方のための宿泊など）、起業家を受け入れる施設（起業家支援施設など）、小さなショップが安い賃料で集まる施設（チャレンジショップなど）、天文館、鹿児島中央駅とは差別化が必要
分類	主な意見																				
観光	離島物産などを販売する施設（道の駅など）、観光情報センター、魚類・野菜類など地場食材を販売する市場風施設（フィッシャーマンズワーフなど）、土産センター																				
医療	高度医療施設等（救急救命センターなど）																				
福祉	医療施設を核とした福祉施設、住宅と一体となった福祉施設																				
運動・スポーツ	体育館、屋外型スポーツ施設、高齢者向け健康増進施設																				
公園・緑地	多目的広場・緑地、高齢者が憩える公園・緑地、子供向け遊び場スペース、芝生広場、屋外ステージ																				
居住・暮らし支援	子育て支援施設（保育園など）、塾のまち、高齢者対応住宅、二世帯型住宅、市営住宅（子育て世帯向けなど）																				
地域コミュニティ	総合コミュニティセンター、市民利用のイベントスペース																				
交通	パークアンドライド用の駐車場（中心市街地の外周駐車場、磯方面への観光駐車場など）、交通アクセス拠点（フェリーへのアクセス拠点、市営バスの終点など）、電気自動車の充電スタンド																				
その他	宿泊施設（離島から病院へ来院する方のための宿泊など）、起業家を受け入れる施設（起業家支援施設など）、小さなショップが安い賃料で集まる施設（チャレンジショップなど）、天文館、鹿児島中央駅とは差別化が必要																				

④ 地域住民の意見要約
<p>○代表的な意見は、「観光」、「公園・緑地」、「運動・スポーツ」に関するものであり、このほか、「医療・福祉」や「地域コミュニティ」に関する意見も多く出されている。</p> <p>○平成23年度については上記意見のほか、迅速な土地利用の具体化に対する期待感が示されている。</p>

#### 4. 問題点等・今後の課題等

○これまでの整理を踏まえた、計画地の土地利用計画検討における今後の課題等は次のとおりである。

問題点等
・ 地域住民の鹿児島駅周辺整備に対する期待の高まり
・ 旧国鉄用地等大規模な低未利用地の存在
・ 鉄道、電車、フェリー、バスなどの公共交通機関や都市機能が集積しているが、交通相互の連絡が十分でない。
・ 平成12年から平成22年にかけての上町地区の人口推移は僅かに減少している。
・ 公共公益施設の移転等に伴い地区の活力が低下してきている。
・ 鹿児島市における鉄道の拠点の役割が西鹿児島駅（現在の鹿児島中央駅）へ移転して久しい。
・ 地域資源の存在（鹿児島発祥の地としての貴重な歴史など）
・ 磯地区において、近代化産業遺産の世界文化遺産登録に向けた取組が進められている。
・ 計画地の土地形状が不整形
・ 計画地はJR鹿児島駅に近接

今後の課題等
・ 大規模な低未利用地の活用
・ 鹿児島駅周辺の拠点機能の再生
・ かつてのにぎわいの再生が必要となっている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区の交流人口の拡大</li> <li>・ 鹿児島駅の新たな顔づくりが必要</li> </ul>
・ 観光資源・地域資源をつなぐ機能の強化
・ 敷地全体を有効利用するためには、接道道路から最奥部までの動線確保が必要
・ 鹿児島駅利用者を計画地に誘導する方策（動線確保）の検討が必要

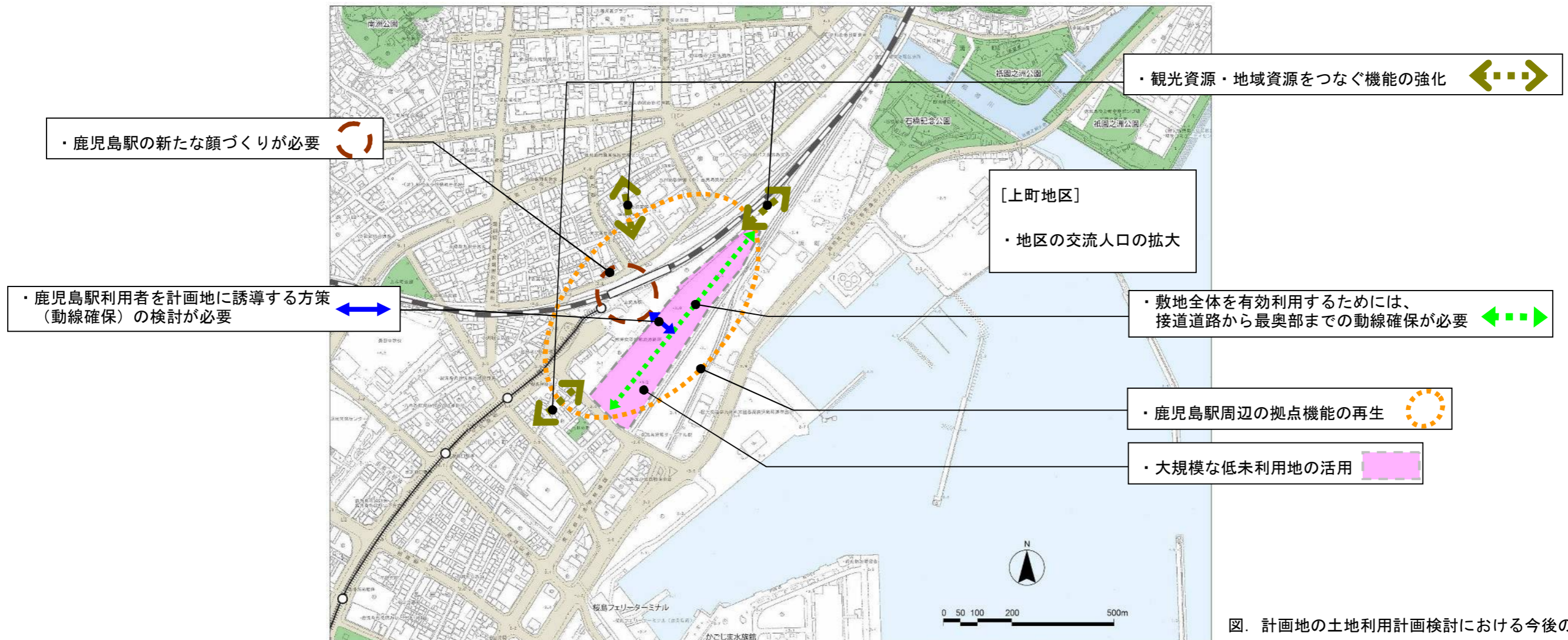


図. 計画地の土地利用計画検討における今後の課題等



## 5. 土地利用計画

### 5-1 ポテンシャル及び対応方針

○先に整理した今後の課題等や平成23年度の土地利用検討委員会で出された意見を踏まえ、計画地等のポテンシャル、土地利用面での対応方針について整理する。

今後の課題等	平成23年度の検討委員会で出された意見	ポテンシャル	対応方針
大規模な低未利用地の活用	○上町は人の“におい”がし、自然や歴史のあるまちであるが、その魅力を十分に発揮できていない。	○新たな土地利用により、鹿児島駅周辺で上町の良さを含めて「鹿児島」を感じてもらうことが可能である。	<b>土地利用の理念</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「まちの風情」を大切にすることが必要</li> <li>○新しいものと緑や静けさ、歴史、景観を融合させる。</li> </ul>
鹿児島駅周辺の拠点機能の再生	○もともとは鹿児島駅が本駅だったが、いまではその役割が鹿児島中央駅に移っている。	○鹿児島中央駅と役割分担を図ることにより鹿児島駅及びその周辺が生まれ変わる可能性がある。 ○また県外からの集客も期待できるようになる。	<b>土地利用の方針</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 鹿児島中央駅との差別化</li> <li>○緑を生かした整備とするなど、鹿児島中央駅とは異なる方向を指向する。</li> <li>■ ローカリティの活用</li> <li>○地域資源を活用し、地域文化やコミュニティを大切にす</li> <li>■ にぎわいの創出</li> <li>○にぎわいの施設を導入し、活発な人の動きを誘発する契機とする。</li> </ul>
地区の交流人口の拡大	○鹿児島駅周辺には、仙巖園や新波止砲台跡の間近を往来する桜島フェリー、南洲神社や福昌寺跡をはじめとする神社仏閣等、地域資源が豊富に存在する。	○これらの地域資源をつなぎ合わせるにより、鹿児島駅周辺らしさ・上町らしさを演出することが可能である。	
鹿児島駅の新たな顔作りが必要	○人の流れが少なく、昼夜の交流人口が減少し、鹿児島駅周辺は寂れてきた印象がある。	○観光客、市民、地域住民が楽しめる施設を導入することにより活気の復活が期待できる。	<b>導入機能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 緑空間の整備</li> <li>○花と緑の回廊を形成し、まちに溶け込む緑、杜の中の駅・まちを目指す。</li> <li>■ 「市」の形成</li> <li>○歴史的背景を生かした、観光・物産・交流等に資するような「市」を展開する。</li> <li>■ 交通結節機能のさらなる充実</li> <li>○観光バス駐車場やパーク＆ライド駐車場等を検討するとともに、JR、市電等との結節性の強化を図る。</li> </ul>
観光資源・地域資源をつなぐ機能の強化	○上町地区には「緑」が不足している。	○鹿児島駅から眺めるとこれまでに植栽された樹木が大木に育ち、木々の緑がまちと溶け込んでいる。 ○市電の軌道敷緑化と調和した「都市の杜」（花緑拠点）をつくることにより、まちに花と緑の回廊が生まれる。	
敷地全体を有効利用するためには、接続道路から最奥部までの動線確保が必要	○上町にはかつて南九州最大級の「市」があり、商店街発祥の地でもあったが、今では寂れている。	○歴史的背景に基づき、「市」をキーワードとする土地利用が可能である。	
敷地全体を有効利用するためには、接続道路から最奥部までの動線確保が必要	○JR、市電、バス、タクシーなどが集中し、交通結節機能が形成されている。 ○特に始良方面からの交通結節点となっており、玄関口として機能している。 ○磯地区が世界遺産登録されると現地に観光バス駐車場が設置困難となる。	○駅・電停などが至近で、交通結節機能が高いため、パーク＆ライドへの取組に可能性がある。 ○JR駅舎、市電電停を含んだインフラ整備により、交通結節機能のさらなる強化が可能である。	<b>空間の使い方</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ フレキシビリティの確保</li> <li>○イベント対応やハレ（非日常）とケ（日常）など、フレキシブルな場面転換を可能とする空間を構成する。</li> </ul>
鹿児島駅利用者を計画地に誘導する方策（動線確保）の検討が必要	○祭りなど地域イベントで臨時的に利用できる空間が不足している。	○大規模敷地であるため、イベント等にも対応できる空間を用意することが可能である。	

## 5-2 基本コンセプト・基本方針

### 上位・関連計画での位置づけ

第五次鹿児島市総合計画（平成23年度策定）

- ◆リーディングプロジェクト
  - “ディスカバーかごしま”文化創造プロジェクト
  - “食の都かごしま”チャレンジプロジェクト
  - “花と緑の回廊”環境創出プロジェクト
- ◆上町地区の基本的方向
  - ・交通結節機能の強化や新たな都市拠点の形成
  - ・都市景観や観光資源の面からの交通体系検討
  - ・地域資源を生かした個性あふれる地域づくりの推進

かごしま都市マスタープラン（平成19年3月改訂）

- ◆上町地区のまちづくり目標
  - 鹿児島本港、城山、磯・多賀山を活かす 海に開かれた歴史にふれあうまちづくり
- ◆上町地区の整備方針
  - ・鹿児島駅周辺、市役所周辺の商業地におけるウォーターフロントとの接点を活かした再整備と活性化
  - ・城山、磯・多賀山の自然環境・景観、南洲門前通りの歴史的街並み、本港区のウォーターフロントなど地区資源の一体的活用による地区の活性化

まちと緑のハーモニープラン（平成23年3月策定）

文化薫る地域の魅力づくりプラン（平成24年3月策定）

第2期鹿児島市観光未来戦略（平成24年3月策定）

鹿児島市景観計画（平成20年6月施行）

### 計画地の対応方針

- 土地利用の理念 : 「まちの風情」を大切にすることが必要
- 土地利用の方針 : 鹿児島中央駅との差別化  
ローカリティの活用  
にぎわいの創出
- 導入機能 : 緑空間の整備  
「市」の形成  
交通結節機能のさらなる充実
- 空間の使い方 : フレキシビリティの確保

### 基本コンセプト・基本方針

#### 土地利用の基本コンセプト

地域資源を生かし、交流・にぎわいや花と緑にあふれる、  
北の玄関口にふさわしい新たな都市拠点の形成

#### 土地利用の基本方針

- ・花と緑が印象的な空間とまちの風情の創出
- ・豊かな地域資源の活用とまちの記憶の継承
- ・人情味や暮らしの中心となる活気のある空間
- ・交通の結節点として方々からの人の来訪
- ・様々な利用に対応できるフレキシブルな場面転換

#### 3つの導入機能



5-3 ゾーニング

土地利用の基本コンセプト

地域資源を生かし、交流・にぎわいや花と緑にあふれる、  
北の玄関口にふさわしい新たな都市拠点の形成

土地利用の基本方針

- ・ 花と緑が印象的な空間とまちの風情の創出
- ・ 豊かな地域資源の活用とまちの記憶の継承
- ・ 人情味や暮らしの中心となる活気のある空間
- ・ 交通の結節点として方々からの人の来訪
- ・ 様々な利用に対応できるフレキシブルな場面転換

① 「緑の空間」ゾーン

- 安らぎ・憩い
  - ・ 花と緑の彩りにあふれ、心地よく憩い・安らぐことのできる「都市の杜」
- 健康増進・スポーツ
  - ・ 散歩、ジョギング等のスポーツなど多様な利用
- イベント利用等
  - ・ フリーマーケットや郷土芸能披露等のイベント等での利用

② 「市(いち)・にぎわい」ゾーン

- 観光・物産
  - ・ 鹿児島、上町の歴史や文化を体験・体感できる機能
  - ・ 地元の特産品や味を楽しめる物産・飲食施設
  - ・ イベント開催が可能な広場 等
- 交流
  - ・ 観光客、市民、地域住民の交流・コミュニティスペース 等
- イベント利用等
  - ・ フリーマーケットや郷土芸能披露等のイベント等での利用

③ 「交通結節・駐車場」ゾーン

- ・ 隣接ゾーンやパーク&ライド等での利用のための駐車場
- ・ 観光バス駐車場を確保 等

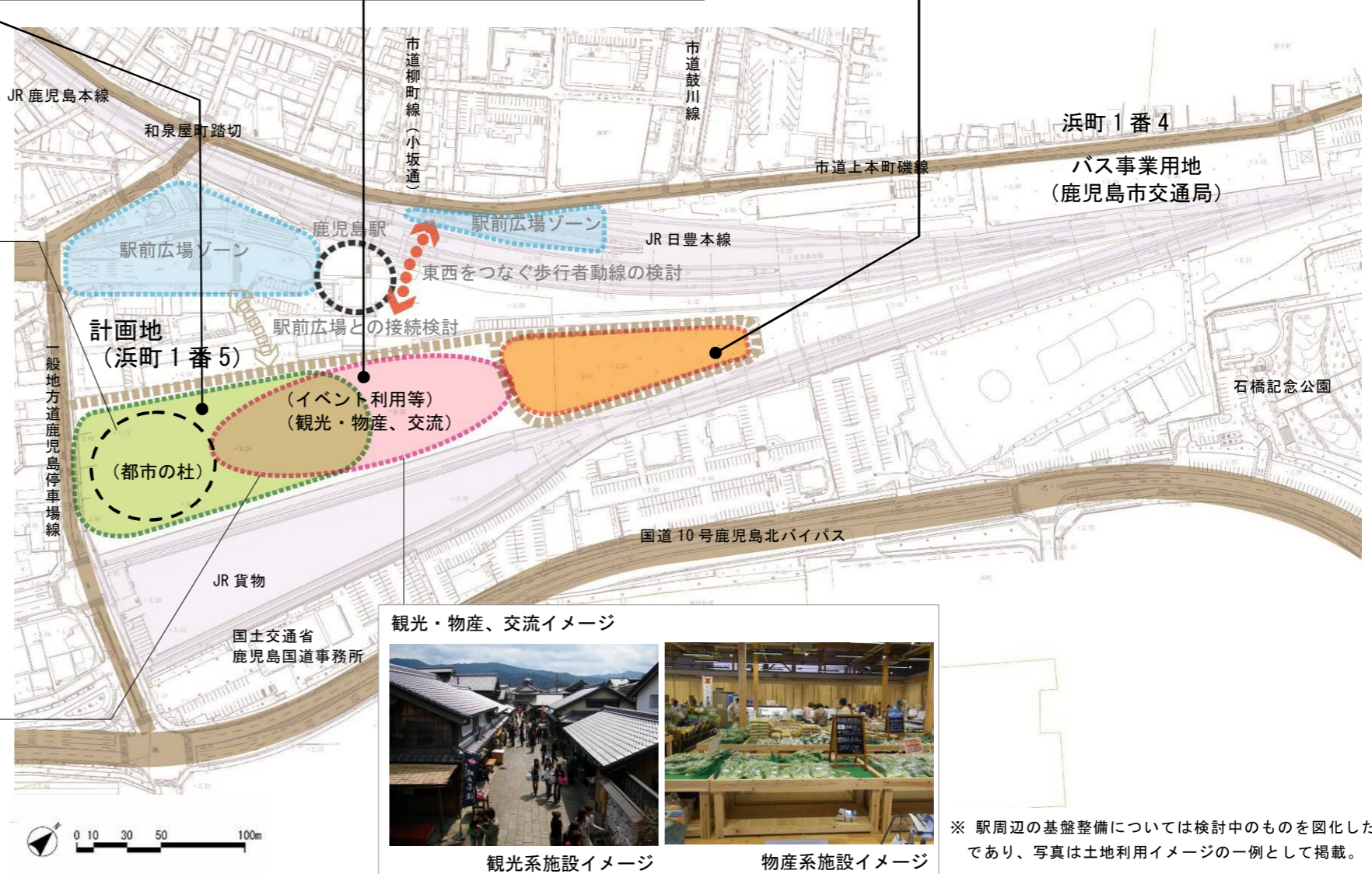


都市の杜イメージ



イベント利用等イメージ

(都市公園の指定を想定せず、様々な利用に柔軟に対応できる空間とする)

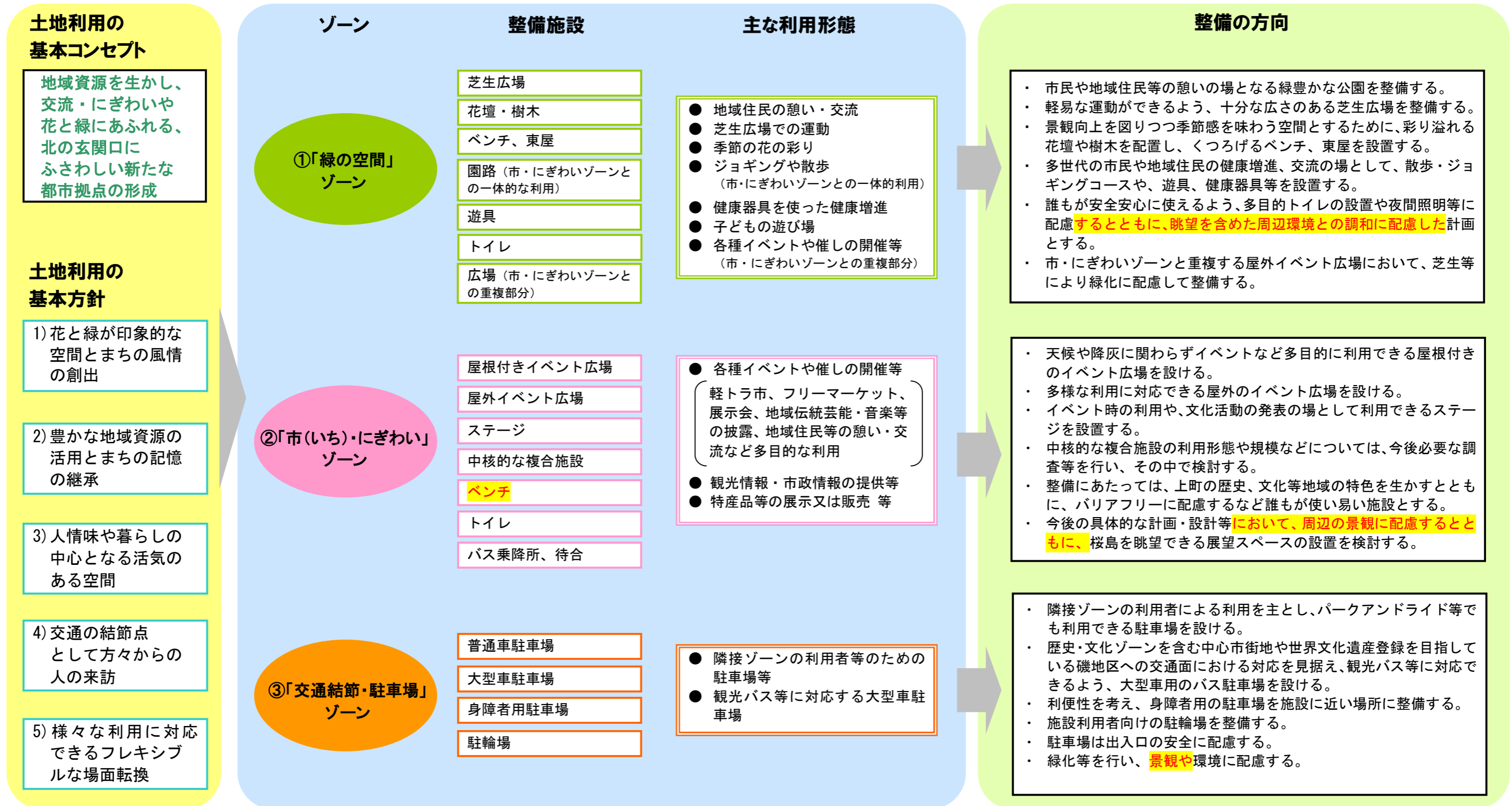


※ 駅周辺の基盤整備については検討中のものを図化したものであり、写真は土地利用イメージの一例として掲載。

## 5-4 整備計画

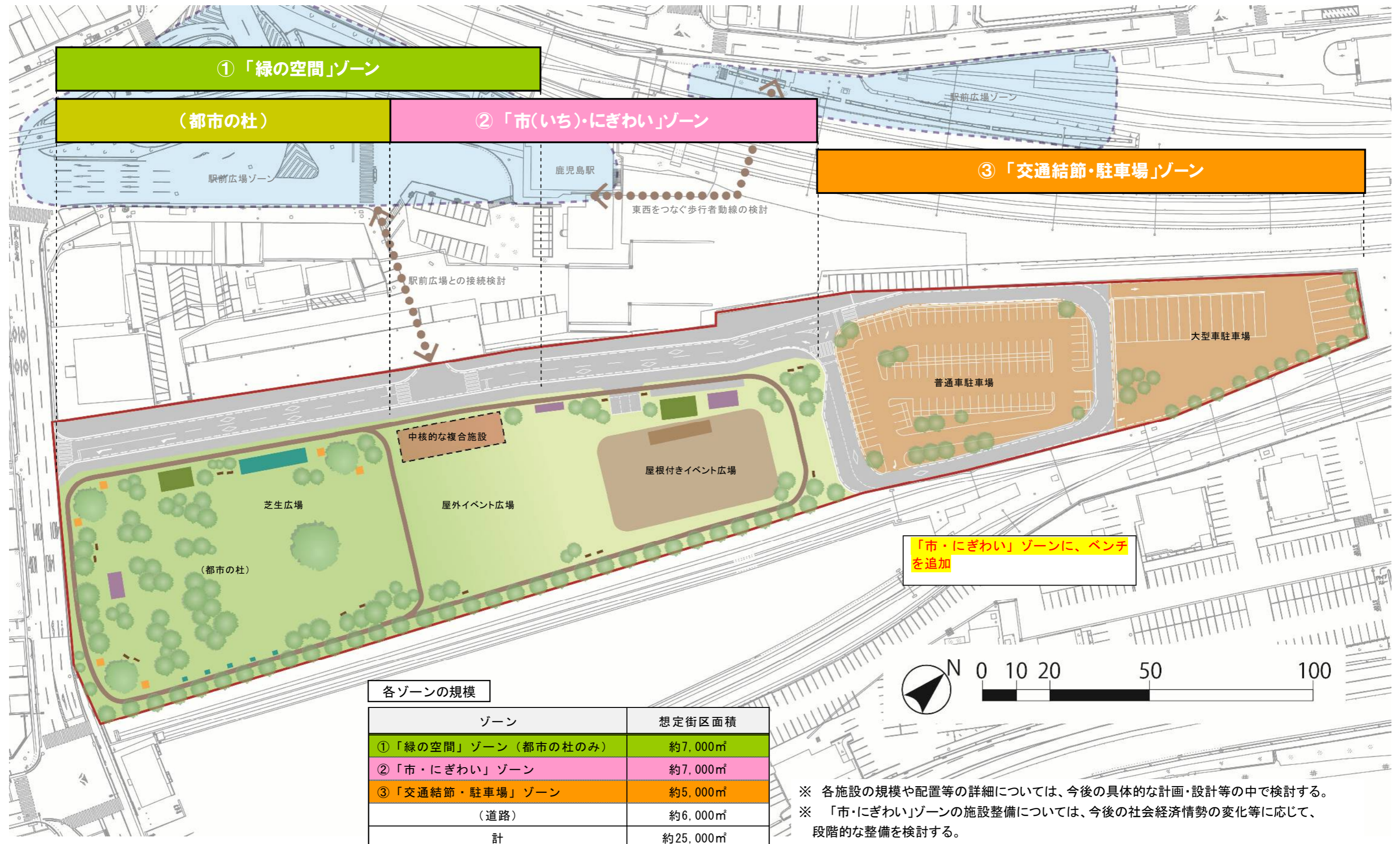
### (1) 整備の基本的方向

- ・ 鹿児島駅周辺において、観光客や市民、地域住民が集い、行き交う、新たな都市拠点を形成する。
- ・ 当該地域で行われてきた市（いち）を背景として、軽トラ市、フリーマーケット、展示会、地域伝統芸能・音楽等の披露など各種イベント等を開催する場をつくり、様々な来街者による、にぎわい・交流の創出を図る。
- ・ 緑豊かで季節感を味わう空間として、多世代の市民や地域住民の健康増進、交流の場の創出を図る。
- ・ 「市・にぎわい」ゾーンの施設整備については、今後の社会経済情勢の変化等に応じて、段階的な整備を検討する。



(2) 全体計画

全体平面イメージ



「市・にぎわい」ゾーンに、ベンチを追加

ゾーン	想定街区面積
①「緑の空間」ゾーン（都市の杜のみ）	約7,000㎡
②「市・にぎわい」ゾーン	約7,000㎡
③「交通結節・駐車場」ゾーン	約5,000㎡
（道路）	約6,000㎡
計	約25,000㎡

※ 各施設の規模や配置等の詳細については、今後の具体的な計画・設計等の中で検討する。  
 ※ 「市・にぎわい」ゾーンの施設整備については、今後の社会経済情勢の変化等に応じて、段階的な整備を検討する。

### (3) 各ゾーンの個別計画

#### ① 「緑の空間」ゾーン

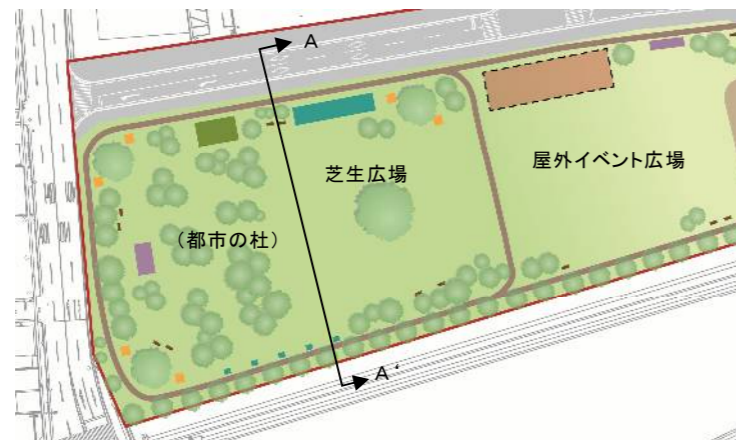
##### 整備の方向

- ・ 市民や地域住民等の憩いの場となる緑豊かな公園を整備する。
- ・ 軽易な運動ができるよう、十分な広さのある芝生広場を整備する。
- ・ 景観向上を図りつつ季節感を味わう空間とするために、彩り溢れる花壇や樹木を配置し、くつろげるベンチ、東屋を設置する。
- ・ 多世代の市民や地域住民の健康増進、交流の場として、散歩・ジョギングコースや、遊具、健康器具等を設置する。
- ・ 誰もが安全安心に使えるよう、多目的トイレの設置や夜間照明等に配慮するとともに、眺望を含めた周辺環境との調和に配慮した計画とする。
- ・ 市・にぎわいゾーンと重複する屋外イベント広場において、芝生等により緑化に配慮して整備する。

##### 規模・数量

	種別	規模・数量	備考
安らぎ・憩い	花壇	約 200 m <sup>2</sup>	季節の花の彩りに溢れる花壇を整備
	樹木	シンボルツリー：数本 植栽：敷地全体	シンボルツリーをはじめ、木陰をつくる樹木など、敷地内外の景観に配慮した樹木を配置
	ベンチ、東屋	ベンチ：数箇所 東屋：1棟	休憩できるベンチや東屋を設置
健康増進・スポーツ	芝生広場	約 2,000 m <sup>2</sup>	運動ができる芝生の広場を確保
	園路	1周約 500m (市・にぎわいゾーン含む)	散歩道、ジョギングのコース等を整備
	遊具	数基	健康器具や遊具等を設置し、高齢者、子ども連れ等多世代の健康増進、交流の場をつくる。
イベント利用等	(屋外イベント広場)	(約 2,500 m <sup>2</sup> )	市・にぎわいゾーンとの重複部分
その他	トイレ	1棟	多目的トイレの併設

##### 配置イメージ



##### 断面イメージ



#### ② 「市(いち)・にぎわい」ゾーン

##### 整備の方向

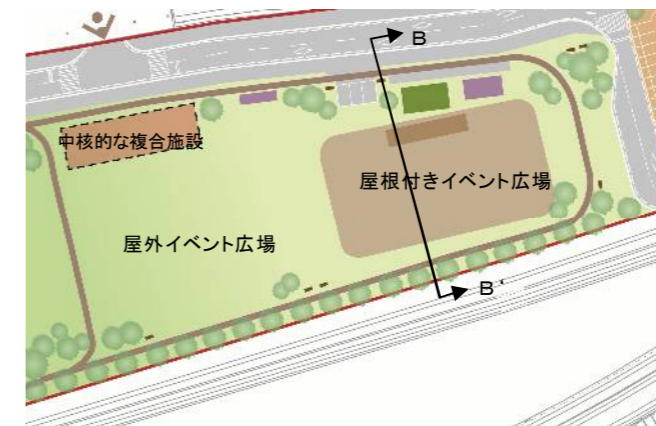
- ・ 天候や降灰に関わらずイベントなど多目的に利用できる屋根付きのイベント広場を設ける。
- ・ 多様な利用に対応できる屋外のイベント広場を設ける。
- ・ イベント時の利用や、文化活動の発表の場として利用できるステージを設置する。
- ・ 中核的な複合施設の利用形態や規模などについては、今後必要な調査等を行い、その中で検討する。
- ・ 整備にあたっては、上町の歴史、文化等地域の特色を生かすとともに、バリアフリーに配慮するなど誰もが使い易い施設とする。
- ・ 今後の具体的な計画・設計等において、周辺の景観に配慮するとともに、桜島を眺望できる展望スペースの設置を検討する。

##### 規模・数量

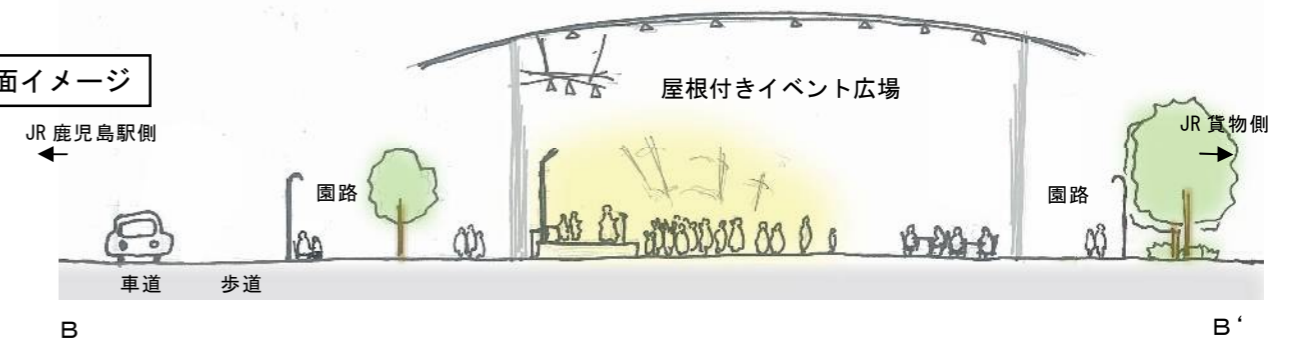
	種別	規模・数量	備考
イベント利用等	屋根付きイベント広場	今後検討	天候や降灰に関わらず多目的に利用できる屋根付きのイベント広場
	屋外イベント広場	約 2,500 m <sup>2</sup>	多様な利用に対応できる屋外のイベント広場を設ける。
	ステージ	約 140 m <sup>2</sup>	イベント時や文化活動の発表の場として利用
観光・物産、交流	中核的な複合施設	今後検討	今後必要な調査等を行い、その中で検討する。
その他	ベンチ	ベンチ：数箇所	休憩できるベンチを設置
	トイレ	1棟	多目的トイレの併設
	バス乗降所・待合	約 50 m <sup>2</sup>	観光バス等の乗降所・待合
	イベント関連諸室	約 100 m <sup>2</sup>	イベント出演者の控室、物置等
	荷捌きスペース	約 150 m <sup>2</sup>	イベント関連の荷捌きスペース

※身障者用駐車場、駐輪場については、別途「交通結節・駐車場」ゾーンにて掲載。

##### 配置イメージ



##### 断面イメージ



## ③ 「交通結節・駐車場」ゾーン

## 整備の方向

- ・ 隣接ゾーンの利用者による利用を主とし、パークアンドライド等でも利用できる駐車場を設ける。
- ・ 歴史・文化ゾーンを含む中心市街地や世界文化遺産登録を目指している磯地区への交通面における対応を見据え、観光バス等に対応できるよう、大型車用のバス駐車場を設ける。
- ・ 利便性を考え、身障者用の駐車場を施設に近い場所に整備する。
- ・ 施設利用者向けの駐輪場を整備する。
- ・ 駐車場は出入口の安全に配慮する。
- ・ 緑化等を行い、**景観**や環境に配慮する。

## 規模・数量

	種別	規模・数量	備考
交通結節・ 駐車場	普通車駐車場	100 台程度	軽自動車を含む
	大型車駐車場	20 台程度	動線等を考慮し、安全性に問題がない場所に設置
	身障者用駐車場	3 台程度	利便性を考慮して「市・にぎわい」ゾーンに配置
	駐輪場	50 台程度	自転車、バイク用 利便性を考慮して「市・にぎわい」ゾーンに配置
	その他		計画地内の空きスペースを活用し、荷捌用駐車場等の設置を検討

## 配置イメージ



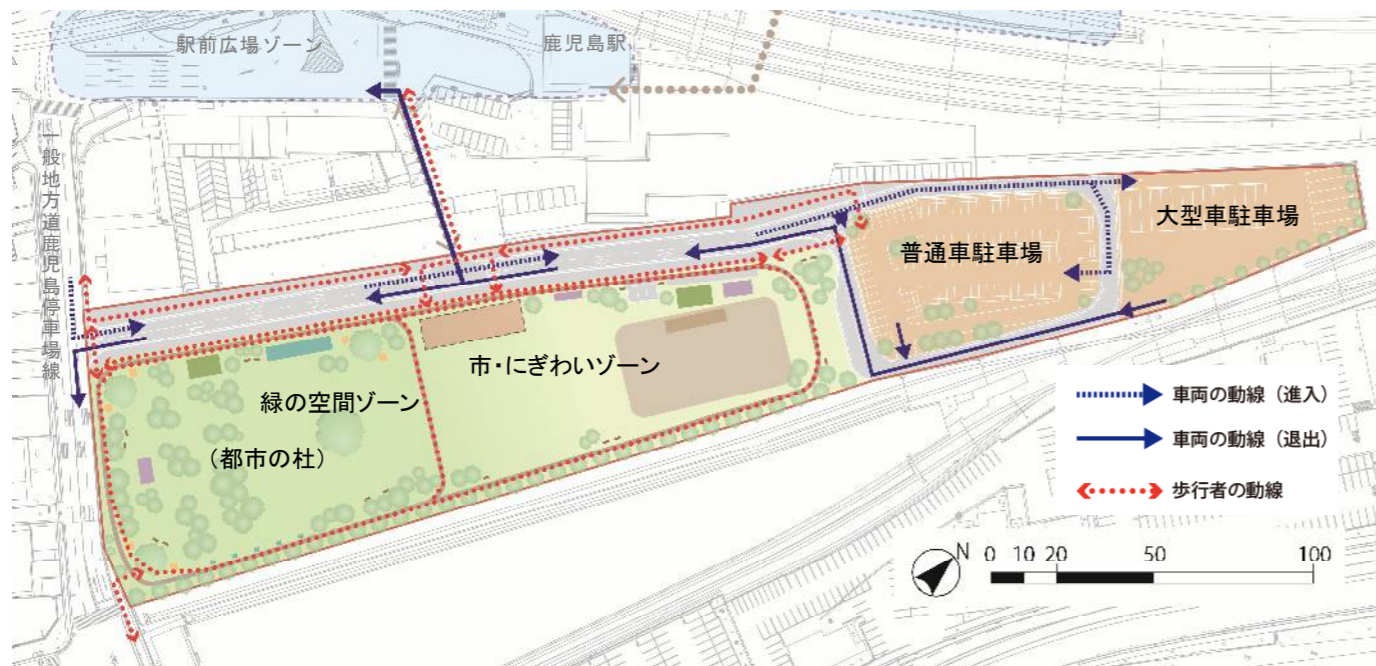
## (4) 動線計画

### 車の動線

- ・車による進入は、一般地方道鹿児島停車場線からの左折を基本とし、車による退出は、一般地方道鹿児島停車場線への左折及び浜町1番5と駅前広場ゾーンの接続道路(浜町1番5から駅前広場ゾーン方向への一方通行を想定)を活用することで関係機関等と協議しながら検討する。
- ・一般地方道鹿児島停車場線との右折による進入・退出についても、関係機関等と協議しながら検討する。

### 人の動線

- ・JR鹿児島駅及び市電鹿児島駅前電停など公共交通機関の利用者は、浜町1番5と駅前広場ゾーンの接続道路に計画する歩道を通してアクセスすることで関係機関等と協議しながら検討する。
- ・市街地側からは上記接続道路や一般地方道鹿児島停車場線、計画地内の道路の歩道からのアクセスとなる。
- ・車の動線と人の動線が交錯する箇所については、横断歩道を設置するなど安全性に問題がないように計画する。



## (5) 事業スケジュール

年度	項目	概要
平成 23 年度	「鹿児島駅周辺土地利用の基本的な考え方」のとりまとめ	土地利用の方向性、ゾーニングを作成
平成 24 年度	「鹿児島駅周辺土地利用基本計画」の策定	整備する施設の種類や規模等を作成
平成 25 年度	各ゾーンの施設基本計画の策定等	整備手法や管理運営計画等を含めた整備する施設の詳細等を作成
平成 26 年度	基本設計、実施設計	施設基本計画に基づく設計
平成 27 年度	整備工事	実施設計に基づく整備工事
平成 28 年度	整備工事、供用開始 ※	整備工事完了後、供用開始

※ 「市・にぎわい」ゾーンの「中核的な複合施設」については、今後の社会経済情勢の変化等に応じ、整備する機能、規模、時期等を検討する。

## 5-5 管理運営計画

### 管理運営計画の考え方

計画地の整備、維持管理・運営については、行政が行うことを基本としながら、民間活力を活用した適切な維持管理運営体制の構築に向け、今後検討を行うこととする。



(参考)

鹿児島駅周辺土地利用検討委員会設置要綱

(設置)

第1条 鹿児島市浜町1番4及び1番5（以下「当該地」という。）の土地利用の方向性について協議及び検討するため、鹿児島駅周辺土地利用検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、当該地の土地利用の方向性について協議及び検討し、その結果を市長に報告する。

(組織)

第3条 委員会は、委員12人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 関係団体等を代表する者
- (3) その他市長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、平成25年3月31日までとする。

(委員長等の職務)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれらを定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理し、委員会の会議（以下「会議」という。）の議長を務める。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 会議は、委員長が必要に応じて招集する。

2 会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

3 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に会議への出席を求め、意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、建設局都市計画部市街地まちづくり推進課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成23年9月9日から施行する。

付 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

(委員構成)

区分	部門	所属・役職	氏名 (敬称略、順不同)
学識経験者	地域計画	鹿児島大学法文学部経済情報学科 教授	◎ 北 崎 浩 嗣
	経営	鹿児島大学 名誉教授 学校法人放送大学 客員教授	○ 宮 廻 甫 允
	環境	鹿児島県立短期大学 生活科学科 教授	多々良 尊 子
	歴史	NPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会 代表理事	東 川 隆太郎
	観光	財団法人鹿児島観光コンベンション協会 コンベンション誘致部長	林 川 尚 彦
	景観	era色彩計画 代表	江 良 喜代子
関係団体等を 代表する者	町内会 通り会	鹿児島駅周辺地区まちづくり協議会	堀之内 繁
		鹿児島駅周辺地区まちづくり協議会	白男川 眞理子
	活動 団体	上町タウンマネジメント 代表幹事	内 村 文 泰
		上町タウンマネジメント 幹事	小 原 恵 子
		上町維新まちづくりプロジェクト 代表	春 山 亮
	関係者	九州旅客鉄道株式会社総合企画本部経営企画部 副課長	高 山 智 宏

◎：委員長 ○：副委員長

委員長が必要と認める委員以外の者	有限会社オフィスフィールドノート 取締役	砂田 光紀
------------------	----------------------	-------

(24年度の開催状況)

平成24年 7月30日 第4回 鹿児島駅周辺土地利用検討委員会  
 平成24年11月29日 第5回 鹿児島駅周辺土地利用検討委員会  
 平成25年12月21日～1月25日 鹿児島駅周辺土地利用基本計画（素案）に係るパブリックコメント手続  
 平成25年 1月11日、13日 鹿児島駅周辺土地利用基本計画（素案）に関する説明会  
 平成25年 2月21日 第6回 鹿児島駅周辺土地利用検討委員会

「鹿児島駅周辺土地利用基本計画（案）」作成

【写真出典（P10掲載）】

- ・緑の空間イメージ (<http://jake0308.cocolog-nifty.com/blog/2011/05/index.html>)
- ・花の彩りイメージ (<http://terfel.net/200906/post-21.html>)
- ・フリーマーケット (<http://www.city.gotsu.lg.jp/2985.html>)
- ・地域芸能披露 ([http://www.kanagawa-kankou.or.jp/event/ev\\_detail.php?eid=ek0238](http://www.kanagawa-kankou.or.jp/event/ev_detail.php?eid=ek0238))
- ・駐車場イメージ (<http://web.pref.hyogo.jp/wd03/documents/000149837.pdf>)
- ・観光バス駐車場イメージ (<http://www.ichiba-parking.jp/reserve/index.php>)